



令和7年度 主な新規事業

①災害時のトイレ機能確保
 広域避難場所の下田中学校に非常用トイレ（マンホールトイレ）を整備するとともに、自走式の小型トイレを導入することで災害時のトイレ機能確保を図るもの。
 ・非常用トイレ整備事業費 3千100万円
 ・自走式小型トイレ購入費 1千万円

②災害時の生活用水確保
 災害時に生活用水として活用できる井戸の調査を進めており、このうち、協力が得られた井戸の整備・修繕に対する費用を補助する制度を設け、生活用水の確保につなげていくもの。
 ・災害用井戸水質調査業務委託 55万円
 ・災害時協力井戸整備費補助金 100万円

③終戦80周年記念事業
 終戦50周年記念誌「海鳴り」昭和の戦争と下田」のデジタル化、市内中学生向け語り部活動、記念イベント・戦争展等を通じ、記憶の風化防止、資料保存、平和教育の推進につなげていくもの。
 ・終戦80周年記録資料作成業務委託 3万3千円ほか

④朝日地区 放課後児童クラブの移転準備
 外遊びができないなどの課題を抱える朝日地区放課後児童クラブの開設場所変更（朝日公民館から朝日小学校への移転）に向け、備品購入等の整備を行い、令和8年度からの移転開設を目指すもの。
 ・朝日地区放課後児童クラブ空調整備工事 250万円ほか

⑤带状疱疹ワクチンの助成開始
 带状疱疹ワクチンの定期接種化に伴い、公費助成を開始するもの。
 4千900円（生ワクチン）
 2万7千800円（不活化ワクチン2回分）

⑥魚市場等整備計画の支援
 魚市場建替事業を支援し、水産業の基盤強化を図り、みなとまちゾーンの活性化につなげていくもの。
 ・水産業基幹施設整備事業補助金（基本設計分） 632万5千円

⑦田牛漁港海岸整備工事の開始
 静岡県第4次地震被害想定（レベル1）に応じた海岸保全施設（堤防・水門・陸間）の整備を行い、津波被害の軽減を目指すもの。
 ・田牛漁港海岸保全施設整備工事（護岸設置工） 1億円

⑧木造住宅耐震改修事業費 補助金の拡充
 現在の補助に加え、新たな耐震改修補助制度の策定を目指し、より安価で効果的な耐震化を図られるよう、建築士・工務店向けの「耐震リフォーム達人塾」を開催し、受講者による精密診断を受け、設計・施工を行うケースに対しては、耐震化工事に要する費用に加え、精密診断・設計に要する費用について、市独自の補助を行うもの。
 ・耐震リフォーム達人塾開催経費 39万4千円
 ・木造住宅耐震改修事業費補助金 1千650万円

⑨消防団第6分団統合詰所整備事業
 津波浸水域内にある第6分団第1部詰所（吉佐美）及び老朽化した第2部詰所（大賀茂）を統合し、地区防災センターを備えた新たな消防団詰所を整備するもの。
 吉佐美地内（国道136号線沿い）
 ・測量及び登記業務委託 357万円
 ・不動産鑑定業務委託 21万1千円
 ・実施設計業務委託 768万6千円
 ・用地購入費 2千600万円

⑩小・中学校教育用端末の更新
 令和2年度にGIGAスクール構想に基づき整備した教育用端末（タブレット端末）が更新時期を迎えることから、静岡県による共同調達事業に参加することで、スケジュールを生かした計画的更新を図るもの。
 ・小学校教育用端末購入費 4千633万2千円
 ・中学校教育用端末購入費 2千956万8千円

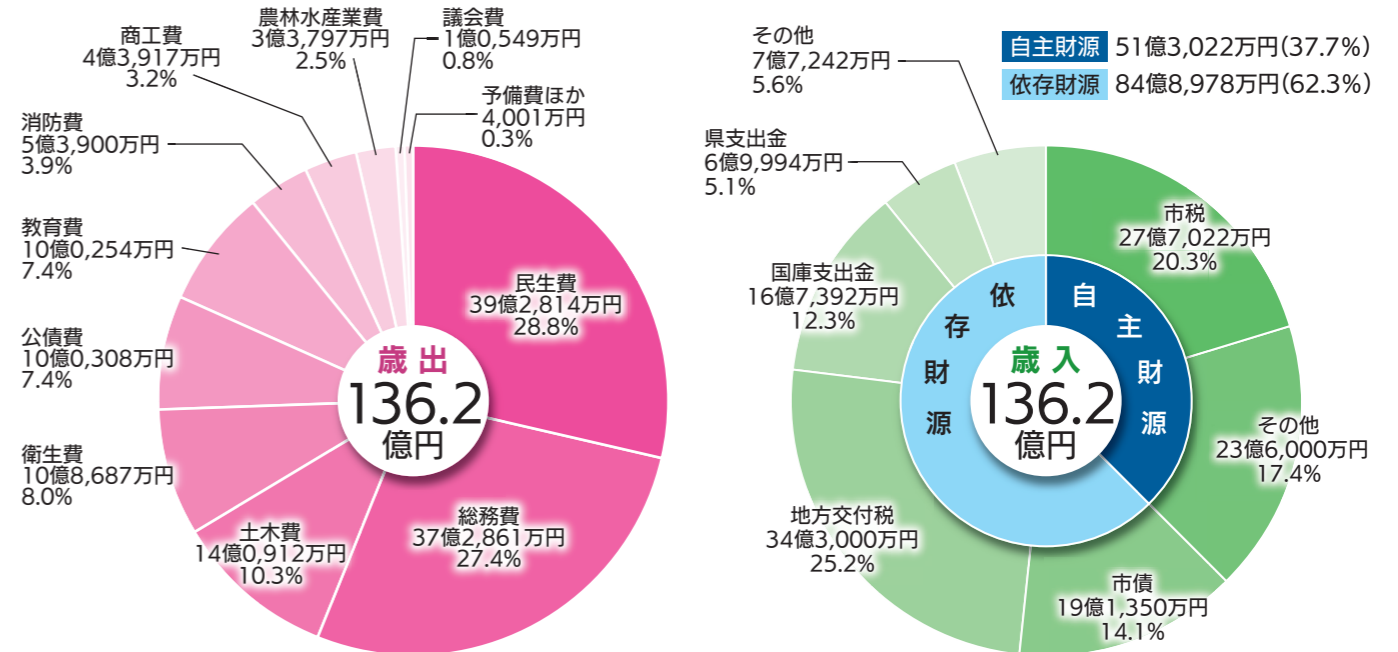
⑪図書館併設複合社会教育施設 利活用方針策定支援業務委託
 図書館再整備に当たり、中央公民館との複合施設化を検討していることから、より高度な分析、手法により、客観性、専門性、信ぴょう性を確保した図書館併設複合社会教育施設の利活用方針を策定するもの。
 ・図書館併設複合社会教育施設利活用方針策定支援業務委託 50万円ほか

⑫三島由紀夫生誕100周年記念事業
 本市ゆかりの作家・三島由紀夫の生誕100周年を記念し、講演会を中心とする記念事業を企画するもの。
 20万円



当初予算規模は、一般会計及び全特別会計等を合わせて、225億8600万円、前年度に比べ9億4294万円、4.4%の増となり、各会計間の重複額を除いた純計額は、212億6461万9千円で、前年度に比べ9億3574万7千円、4.6%の増となりました。一般会計は136億2000万円で、前年度に比べ9億2000万円、7.2%の増となりました。一般会計の歳入（性質別）については、自主財源が51億3022万円で歳入全体の37.7%を占め、前年度に比べ2億9783万6千円の増、依存財源は84億8978万7千円で歳入全体の62.3%を占め、前年度に比べ6億2216万4千円の増となりました。

一般会計予算136.2億円の内訳



歳出の性質別構成比率

性質	区分	構成比率
義務的経費 40.1%	人件費	17.5%
	扶助費	15.2%
	公債費	7.4%
消費的経費 33.1%	補助費等	15.3%
	物件費	17.5%
	維持補修費	0.3%
投資的経費 15.8%	普通建設事業費	15.8%
	災害復旧事業費	0%
	その他の経費 10.7%	繰出金
	積立金	2.1%
	投資及び出資金	0.5%
予備費 0.3%	予備費	0.3%



◎用語解説
一般会計：市の行政運営に係る基本的な経費を計上した会計
特別会計：一般会計の歳入歳出と区別して別に処理するための会計
自主財源：市が自主的に収入できる財源
依存財源：国や県から交付される収入

特別会計及び事業会計当初予算

特別会計	予算額	増減率
稲 梓 財 産 区	220万円	15.8%
下田駅前広場整備事業	750万円	13.6%
公共用地取得	1,980万円	547.1%
国民健康保険事業	29億1,700万円	-1.4%
介護保険	27億2,300万円	0.2%
後期高齢者医療	4億9,500万円	4.9%
水道事業	12億6,040万円	1.6%
公共下水道事業	15億0,430万円	0.0%
漁業集落排水事業	3,680万円	-7.3%
合 計	89億6,600万円	0.3%